

大学番号 私立170

注3

設置年度 令和 3年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

愛知大学 文学部 歴史地理学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 愛知大学
令和3年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部企画課
職名・氏名	課長・高橋 正樹 教学企画係長・尾崎 貴俊
電話番号	052-937-8163
（夜間）	052-937-8111
e-mail	kikaku@ml.aichi-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

文学部

＜歴史地理学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	13
6. 附帯事項等に対する履行状況等	29
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人 愛知大学

(2) 大 学 名

愛知大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒441-8522

愛知県豊橋市町畑町字町畑 1 番地の 1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(カワイ シンイチ) 川井 伸一 (令和元年11月15日)		
学 長	(カワイ シンイチ) 川井 伸一 (令和元年11月15日)		
学 部 長	(ヤマダ クニアキ) 山田 邦明 (令和2年4月1日)		
学科長等		(ナガイ チアキ) 長井 千秋 (令和3年4月1日)	未定としていた学科長について、令和3年4月1日付で就任した(3)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください。

(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)

令和3年度に報告する内容 → (3)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の 名称(学位)	学位又は学科 の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停 止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学部 歴史地理学科 学士(文学)	文学関係	4 年	70 人	— 年次 人	280 人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		平均入学定員 超 過 率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	70 (ー) [ー]	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	0.98倍	一倍	
志願者数	974 (ー) [ー]	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人			
受験者数	959 (ー) [ー]	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人			
合格者数	412 (ー) [ー]	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人			
B 入学者数	69 (ー) [ー]	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人	一人			
入学定員超過率 B/A	0.98												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	69 [-] (-)	- [-] (-)	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
2 年次			 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
3 年次					 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
4 年次							 [] ()	 [] ()	 [] ()	 [] ()	
計	69 [-] (-)		 [] ()		 [] ()		 [] ()		 [] ()		

・ 令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内 訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
					うち留学生数	
令和3年度	69 人	0 人	令和3年度	0 人	0 人	
令和4年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
令和6年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
令和7年度	人	人	令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合 計		0 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{69} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜文学部 歴史地理学科＞

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担	
			必	選	自	教	准	講	助	助			
			修	択	由	授	教授	師	教	手			
共通教育科目	英語	Communicative English I	1前	1									4
		Communicative English II	1後	1									4
		Reading I	1前	1									5
		TOEIC	1後	1									5
		Practical English I	2前	1									7
		Practical English II	2後	1									7
		Reading II	2前	1									8
		Reading III	2後	1									8
		Current English I	2前		2								1
		Current English II	2後		2								1
		Communication Skills I	1・2・3・4		2								2
		Communication Skills II	1・2・3・4		2								2
		Communication Skills III	1・2・3・4		2								1
		Communication Skills IV	1・2・3・4		2								1
	中国語	入門中国語 I	1前		1								5
		入門中国語 II	1後		1								5
		基礎中国語 I	1前		1								5
		基礎中国語 II	1後		1								5
		応用中国語 I	2前		1								4
		応用中国語 II	2後		1								4
		総合中国語 I	2前		1								1
		総合中国語 II	2後		1								1
		中国語会話（初級） I	1前		1								1
		中国語会話（初級） II	1後		1								1
		中国語会話（中級） I	2前		1								1
		中国語会話（中級） II	2後		1								1
		コミュニケーション中国語 I A	3前		2								1
		コミュニケーション中国語 I B	3後		2								1
		コミュニケーション中国語 II A	3前		2								1
		コミュニケーション中国語 II B	3後		2								1
外国語分野 フランス語	入門フランス語 I	1前		1								1	
	入門フランス語 II	1後		1								1	
	基礎フランス語 I	1前		1								2	
	基礎フランス語 II	1後		1								2	
	応用フランス語 I	2前		1								2	
	応用フランス語 II	2後		1								2	
	総合フランス語 I	2前		1								1	
	総合フランス語 II	2後		1								1	
	フランス語会話（初級） I	1前		1								1	
	フランス語会話（初級） II	1後		1								1	
	フランス語会話（中級） I	2前		1								1	
	フランス語会話（中級） II	2後		1								1	
	コミュニケーションフランス語 I A	3前		2								1	
	コミュニケーションフランス語 I B	3後		2								1	
	コミュニケーションフランス語 II A	3前		2								1	
	コミュニケーションフランス語 II B	3後		2								1	
ドイツ語	入門ドイツ語 I	1前		1								1	
	入門ドイツ語 II	1後		1								1	
	基礎ドイツ語 I	1前		1								2	
	基礎ドイツ語 II	1後		1								2	
	応用ドイツ語 I	2前		1								1	
	応用ドイツ語 II	2後		1								1	
	総合ドイツ語 I	2前		1								1	
	総合ドイツ語 II	2後		1								1	
	ドイツ語会話（初級） I	1前		1								1	
	ドイツ語会話（初級） II	1後		1								1	
	ドイツ語会話（中級） I	3前		1								1	
	ドイツ語会話（中級） II	3後		1								1	
ロシア語	入門ロシア語 I	1前		1								1	
	入門ロシア語 II	1後		1								1	
	基礎ロシア語 I	1前		1								1	
	基礎ロシア語 II	1後		1								1	
	応用ロシア語 I	2前		1								1	
	応用ロシア語 II	2後		1								1	
	総合ロシア語 I	2前		1								1	
	総合ロシア語 II	2後		1								1	

【令和3年度】

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通教育科目	英語	Communicative English I	1前	1									6
		Communicative English II	1後	1									6
		Reading I	1前	1									6
		TOEIC	1後	1									6
		Practical English I	2前	1									7
		Practical English II	2後	1									7
		Reading II	2前	1									8
		Reading III	2後	1									8
		Current English I	2前		2								1
		Current English II	2後		2								1
		Communication Skills I	1・2・3・4		2								2
		Communication Skills II	1・2・3・4		2								2
		Communication Skills III (未開講)	1・2・3・4		2								1
		Communication Skills IV	1・2・3・4		2								1
	中国語	入門中国語 I	1前	1									6
		入門中国語 II	1後	1									6
		基礎中国語 I	1前	1									6
		基礎中国語 II	1後	1									6
		応用中国語 I	2前	1									4
		応用中国語 II	2後	1									4
		総合中国語 I	2前	1									1
		総合中国語 II	2後	1									1
		中国語会話（初級） I (未開講)	1前	1									1
		中国語会話（初級） II (未開講)	1後	1									1
		中国語会話（中級） I	2前	1									1
		中国語会話（中級） II	2後	1									1
		コミュニケーション中国語 I A	3前	2									1
		コミュニケーション中国語 I B	3後	2									1
	コミュニケーション中国語 II A	3前	2									1	
	コミュニケーション中国語 II B	3後	2									1	
	外国語分野 フランス語	入門フランス語 I	1前	1									1
		入門フランス語 II	1後	1									1
		基礎フランス語 I	1前	1									3
		基礎フランス語 II	1後	1									3
		応用フランス語 I	2前	1									2
		応用フランス語 II	2後	1									2
総合フランス語 I		2前	1									1	
総合フランス語 II		2後	1									1	
フランス語会話（初級） I		1前	1									1	
フランス語会話（初級） II		1後	1									1	
フランス語会話（中級） I		2前	1									1	
フランス語会話（中級） II		2後	1									1	
コミュニケーションフランス語 I A		3前	2									1	
コミュニケーションフランス語 I B		3後	2									1	
コミュニケーションフランス語 II A	3前	2									1		
コミュニケーションフランス語 II B	3後	2									1		
ドイツ語	入門ドイツ語 I	1前	1									3	
	入門ドイツ語 II	1後	1									3	
	基礎ドイツ語 I	1前	1									2	
	基礎ドイツ語 II	1後	1									2	
	応用ドイツ語 I	2前	1									1	
	応用ドイツ語 II	2後	1									1	
	総合ドイツ語 I	2前	1									1	
	総合ドイツ語 II	2後	1									1	
	ドイツ語会話（初級） I	1前	1									1	
	ドイツ語会話（初級） II	1後	1									1	
	ドイツ語会話（中級） I	3前	1									1	
	ドイツ語会話（中級） II	3後	1									1	
ロシア語	入門ロシア語 I	1前	1									1	
	入門ロシア語 II	1後	1									1	
	基礎ロシア語 I	1前	1									1	
	基礎ロシア語 II	1後	1									1	
	応用ロシア語 I	2前	1									1	
	応用ロシア語 II	2後	1									1	
	総合ロシア語 I	2前	1									1	
	総合ロシア語 II	2後	1									1	

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教育 科目	韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1								2	
		入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1								2	
		基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1前	1								2	
		基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1後	1								2	
		応用韓国・朝鮮語Ⅰ	2前	1								2	
		応用韓国・朝鮮語Ⅱ	2後	1								2	
		総合韓国・朝鮮語Ⅰ	2前	1								1	
		総合韓国・朝鮮語Ⅱ	2後	1								1	
	ポルトガル語	入門ポルトガル語Ⅰ	1前	1								1	
		入門ポルトガル語Ⅱ	1後	1								1	
		基礎ポルトガル語Ⅰ	1前	1								1	
		基礎ポルトガル語Ⅱ	1後	1								1	
	外国語分野	日本語	日本語・表現Ⅰ	1前	1								1
			日本語・表現Ⅱ	1後	1								1
			日本語・論文技術（基礎）Ⅰ	1前	1								1
			日本語・論文技術（基礎）Ⅱ	1後	1								1
			日本語・総合Ⅰ	2前	1								1
			日本語・総合Ⅱ	2後	1								1
			日本語・論文技術（応用）Ⅰ	2前	1								1
			日本語・論文技術（応用）Ⅱ	2後	1								1
			アカデミック日本語Ⅰ	3前	2								1
			アカデミック日本語Ⅱ	3後	2								1
		外国語理解	ビジネス日本語Ⅰ	3前	2								1
			ビジネス日本語Ⅱ	3後	2								1
			世界の言語Ⅰ	2前	2								2
			世界の言語Ⅱ	2後	2								2
			ラテン語Ⅰ	2・3・4	2								1
			ラテン語Ⅱ	2・3・4	2								1
	外国語理解	ギリシャ語Ⅰ	2・3・4	2								1	
		ギリシャ語Ⅱ	2・3・4	2								1	
		海外セミナーⅠ	1・2・3・4	2								1	
		海外セミナーⅡ	1・2・3・4	2								1	
		海外セミナーⅢ	1・2・3・4	2								1	
		海外セミナーⅣ	1・2・3・4	2								1	
		外国語理解Ⅰ	1・2・3・4	2								1	
		外国語理解Ⅱ	1・2・3・4	2								1	
		外国語理解Ⅲ	1・2・3・4	2								1	
		外国語理解Ⅳ	1・2・3・4	2								1	
	数理・情報分野	小計（104科目）			－								
		教養数学	1・2・3・4	2								1	
		数理科学	1・2・3・4	2								1	
		確率入門	1・2・3・4	2								1	
		統計入門	1・2・3・4	2								1	
		情報倫理	1・2・3・4	2								1	
		マルチメディア表現	1・2・3・4	2								2	
		ネットワーク演習	1・2・3・4	2								1	
社会データ分析入門		1・2・3・4	2								1		
プログラミング		1・2・3・4	2								3		
情報の科学		1・2・3・4	2								1		
情報と社会		1・2・3・4	2								1		
情報総合演習		1・2・3・4	2								5		
小計（12科目）			－										
自然分野	物質の科学	1・2・3・4	2								1		
	地球の科学	1・2・3・4	2								1		
	宇宙の科学	1・2・3・4	2								1		
	生命の科学	1・2・3・4	2								1		
	環境の科学	1・2・3・4	2								1		
	科学技術史	1・2・3・4	2								1		
	現代技術と社会	1・2・3・4	2								1		
	地球環境問題	1・2・3・4	2								2		
	自然環境と地理	1・2・3・4	2								1		
	動物行動学	1・2・3・4	2								1		
	健康科学	1・2・3・4	2								1		
	スポーツ工学	1・2・3・4	2								1		
	トレーニング科学	1・2・3・4	2								1		
小計（13科目）			－										
社会分野	歴史学	1・2・3・4	2				1				2		
	考古学	1・2・3・4	2								1		
	地理学	1・2・3・4	2				1				2		
	社会学	1・2・3・4	2								1		
	政治学	1・2・3・4	2								1		
	経済学	1・2・3・4	2								2		
	法学	1・2・3・4	2								1		
	経営学	1・2・3・4	2								1		
	憲法学	1・2・3・4	2								1		
	レクリエーション論	1・2・3・4	2								1		
	ジェンダー論	1・2・3・4	2								2		
小計（11科目）			－										

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教育 科目	韓国・朝鮮語	入門韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1							2	
		入門韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							2	
		基礎韓国・朝鮮語Ⅰ	1前		1							2	
		基礎韓国・朝鮮語Ⅱ	1後		1							2	
		応用韓国・朝鮮語Ⅰ	2前		1							2	
		応用韓国・朝鮮語Ⅱ	2後		1							2	
		総合韓国・朝鮮語Ⅰ	2前		1							1	
		総合韓国・朝鮮語Ⅱ	2後		1							1	
	ポルトガル語	入門ポルトガル語Ⅰ	1前		1							1	
		入門ポルトガル語Ⅱ	1後		1							1	
		基礎ポルトガル語Ⅰ	1前		1							1	
		基礎ポルトガル語Ⅱ	1後		1							1	
	外国語分野	日本語・表現Ⅰ	1前		1							1	
		日本語・表現Ⅱ	1後		1							1	
		日本語・論文技術（基礎）Ⅰ	1前		1							1	
		日本語・論文技術（基礎）Ⅱ	1後		1							1	
		日本語・総合Ⅰ	2前		1							1	
		日本語・総合Ⅱ	2後		1							1	
		日本語・論文技術（応用）Ⅰ	2前		1							1	
		日本語・論文技術（応用）Ⅱ	2後		1							1	
		アカデミック日本語Ⅰ	3前		2							1	
		アカデミック日本語Ⅱ	3後		2							1	
		ビジネス日本語Ⅰ	3前		2							1	
		ビジネス日本語Ⅱ	3後		2							1	
		外国語理解	世界の言語Ⅰ	2前		2							2
			世界の言語Ⅱ	2後		2							2
	ラテン語Ⅰ		2・3・4		2							1	
	ラテン語Ⅱ		2・3・4		2							1	
	ギリシャ語Ⅰ		2・3・4		2							1	
	ギリシャ語Ⅱ		2・3・4		2							1	
	海外セミナーⅠ		2・3・4		2							1	
	海外セミナーⅡ		2・3・4		2							1	
	海外セミナーⅢ		2・3・4		2							1	
	海外セミナーⅣ		2・3・4		2							1	
	外国理解Ⅰ		2・3・4		2							1	
	外国理解Ⅱ		2・3・4		2							1	
	外国理解Ⅲ	2・3・4		2							1		
	外国理解Ⅳ	2・3・4		2							1		
	数理・情報分野	小計（104科目）			—								
		教養数学	1・2・3・4		2							1	
		数理科学	1・2・3・4		2							1	
		確率入門	1・2・3・4		2							1	
統計入門		1・2・3・4		2							1		
情報倫理		1・2・3・4		2							1		
マルチメディア表現		1・2・3・4		2							2		
ネットワーク演習		1・2・3・4		2							1		
社会データ分析入門		1・2・3・4		2							1		
プログラミング		1・2・3・4		2							3		
情報の科学		1・2・3・4		2							1		
情報と社会		1・2・3・4		2							1		
情報総合演習		1・2・3・4		2							4		
小計（12科目）			—										
自然分野	物質の科学	1・2・3・4		2							1		
	地球の科学	1・2・3・4		2							1		
	宇宙の科学	1・2・3・4		2							2		
	生命の科学	1・2・3・4		2							1		
	環境の科学	1・2・3・4		2							1		
	科学技術史	1・2・3・4		2							1		
	現代技術と社会	1・2・3・4		2							1		
	地球環境問題	1・2・3・4		2							2		
	自然環境と地理	1・2・3・4		2							1		
	動物行動学	1・2・3・4		2							1		
	健康科学	1・2・3・4		2							1		
	スポーツ工学	1・2・3・4		2							1		
	トレーニング科学	1・2・3・4		2							1		
	小計（13科目）			—									
社会分野	歴史学	1・2・3・4		2		1	1				2		
	考古学	1・2・3・4		2							2		
	地理学	1・2・3・4		2			1				1		
	社会学	1・2・3・4		2							2		
	政治学	1・2・3・4		2							1		
	経済学	1・2・3・4		2							2		
	法学	1・2・3・4		2							1		
	経営学	1・2・3・4		2							1		
	憲法学	1・2・3・4		2							1		
	レクリエーション論	1・2・3・4		2							1		
	ジェンダー論	1・2・3・4		2							2		
	小計（11科目）			—									

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
				必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教育科目	人文 分野	哲学	1・2・3・4		2								2
		論理学	1・2・3・4		2								1
		宗教学	1・2・3・4		2								2
		心理学	1・2・3・4		2								1
		文化人類学	1・2・3・4		2								1
		現代の思想	1・2・3・4		2								2
		民俗学	1・2・3・4		2								3
		スポーツ文化論	1・2・3・4		2								1
		日本事情Ⅰ	1・2・3・4		2								1
		日本事情Ⅱ	1・2・3・4		2								1
		文学	1・2・3・4		2								1
		日本語学	1・2・3・4		2								1
		古典の世界	1・2・3・4		2								4
		言語と文化	1・2・3・4		2								2
		芸術論	1・2・3・4		2								1
	小計（15科目）		－										
	総合	総合科目	1・2・3・4		2								1
		総合演習	2・3・4		2								1
		キャリアデザイン基礎	1後		2								1
		キャリアデザイン応用	2前		2								3
		キャリアデザイン特殊講義	2・3・4		2								1
	小計（5科目）		－										
	体育 分野	スポーツ・健康演習	1後	2									11
スポーツ実技Ⅰ		2・3・4		1								5	
スポーツ実技Ⅱ		2・3・4		1								4	
小計（3科目）		－											
専門 教育科目	学部 共通科目	文学部総合研究	1前	2			1	2					12
		卒業論文	4通	8		5	2						
		入門講義（現代文化）	1前		2								5
		入門講義（社会学）	1前		2								1
		入門講義（心理学）	1前		2								2
		入門講義（歴史・地理学）	1前		2		4	2					
		入門講義（日本語日本文学）	1前		2								2
		入門講義（欧米言語文化）	1前		2								4
		入門演習（東アジア文化）	1後		2								1
		入門演習（哲学）	1後		2								1
		入門演習（図書館情報学）	1後		2								1
		入門演習（メディア芸術）	1後		2								2
		入門演習（社会学）	1後		2								4
		入門演習（心理学）	1後		2								4
		入門演習（日本史学）	1後		2		3						
		入門演習（世界史学）	1後		2		1	1					
		入門演習（地理学）	1後		2			1					
		入門演習（日本語日本文学）	1後		2								2
		入門演習（欧米言語文化）	1後		2								4
	小計（19科目）		－										
	演習 科目	歴史・地理学演習Ⅰ	2前	2			5	2					
		歴史・地理学演習Ⅱ	2後	2			5	2					
		歴史・地理学演習Ⅲ	3前	2			5	2					
		歴史・地理学演習Ⅳ	3後	2			5	2					
		歴史・地理学演習Ⅴ	4前	2			5	2					
		歴史・地理学演習Ⅵ	4後	2			5	2					
		小計（6科目）		－									
	基幹 科目	歴史・地理学特殊講義A	2前		2		1						
		歴史・地理学特殊講義B	2前		2		1						
		歴史・地理学特殊講義C	2前		2		1						
		歴史・地理学特殊講義D	2前		2								1
		歴史・地理学特殊講義E	2前		2		1						
		歴史・地理学特殊講義F	2前		2			1					
		歴史・地理学特殊講義G	2前		2								1
		歴史・地理学特殊講義H	2前		2								1
		日本史学講読A	2前	2			1						
日本史学講読B		2前	2			1							
日本史学講読C		2前	2			1							
世界史学講読Ⅰ		2前	2			1	1					1	
世界史学講読Ⅱ		2後	2			1	1					1	
世界史学講読Ⅲ		3前	2			1	1					1	
世界史学講読Ⅳ		3後	2			1	1					1	
地理学講読		2前	2				1						
地理学フィールドワーク実習		2通	2			1	1						
地域分析		2前	2									1	
地図学		2後	2										
小計（19科目）		－											

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
共通 教育科目	人文 分野	哲学	1・2・3・4	2								3
		論理学	1・2・3・4	2								1
		宗教学	1・2・3・4	2								2
		心理学	1・2・3・4	2								1
		文化人類学	1・2・3・4	2								1
		現代の思想	1・2・3・4	2								2
		民俗学	1・2・3・4	2								3
		スポーツ文化論	1・2・3・4	2								1
		日本事情Ⅰ	1・2・3・4	2								1
		日本事情Ⅱ	1・2・3・4	2								1
		文学	1・2・3・4	2								2
		日本語学	1・2・3・4	2								2
		古典の世界	1・2・3・4	2								3
		言語と文化	1・2・3・4	2								2
		芸術論	1・2・3・4	2								1
	小計（15科目）		－									
	総合	総合科目	1・2・3・4	2								1
		総合演習	2・3・4	2								1
		キャリアデザイン基礎	1後	2								1
		キャリアデザイン応用	2前	2								3
		キャリアデザイン特殊講義	2・3・4	2								1
	小計（5科目）		－									
	体育 分野	スポーツ・健康演習	1後	2								10
スポーツ実技Ⅰ		2・3・4	1								5	
スポーツ実技Ⅱ		2・3・4	1								4	
小計（3科目）		－										
専門 教育科目	学部 共通科目	文学部総合研究	1前	2			1	2				11
		卒業論文	4通	8			5	2				
		入門講義（現代文化）	1前	2								5
		入門講義（社会学）	1前	2								1
		入門講義（心理学）	1前	2								2
		入門講義（歴史・地理学）	1前	2			3	2				
		入門講義（日本語日本文学）	1前	2								3
		入門講義（欧米言語文化）	1前	2								3
		入門演習（東アジア文化）	1後	2								1
		入門演習（哲学）	1後	2								1
		入門演習（図書館情報学）	1後	2								1
		入門演習（メディア芸術）	1後	2								2
		入門演習（社会学）	1後	2								3
		入門演習（心理学）	1後	2								4
		入門演習（日本史学）	1後	2			2					
		入門演習（世界史学）	1後	2			1	1				
		入門演習（地理学）	1後	2				1				
		入門演習（日本語日本文学）	1後	2								2
		入門演習（欧米言語文化）	1後	2								4
	小計（19科目）		－									
	演習 科目	歴史・地理学演習Ⅰ	2前	2			5	2				
		歴史・地理学演習Ⅱ	2後	2			5	2				
		歴史・地理学演習Ⅲ	3前	2			5	2				
歴史・地理学演習Ⅳ		3後	2			5	2					
歴史・地理学演習Ⅴ		4前	2			5	2					
歴史・地理学演習Ⅵ		4後	2			5	2					
小計（6科目）		－										
基幹 科目	歴史・地理学特殊講義A	2前	2			1						
	歴史・地理学特殊講義B	2前	2			1						
	歴史・地理学特殊講義C	2前	2			1						
	歴史・地理学特殊講義D	2前	2								1	
	歴史・地理学特殊講義E	2前	2			1						
	歴史・地理学特殊講義F	2前	2				1					
	歴史・地理学特殊講義G	2前	2								1	
	歴史・地理学特殊講義H	2前	2								1	
	日本史学講読A	2前	2			1						
	日本史学講読B	2前	2			1						
	日本史学講読C	2前	2			1						
	世界史学講読Ⅰ	2前	2			1	1				1	
	世界史学講読Ⅱ	2後	2			1	1				1	
	世界史学講読Ⅲ	3前	2			1	1				1	
	世界史学講読Ⅳ	3後	2			1	1				1	
	地理学講読	2前	2				1					
	地理学フィールドワーク実習	2通	2			1	1					
地域分析	2前	2								1		
地図学	2後	2										
小計（19科目）		－										

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	展 開 科 目	歴史学総論	1後	2		4	1					
		地理学総論	1後	2		1						
		歴史学史	2前	2								1
		外国考古学Ⅰ	2前	2								1
		外国考古学Ⅱ	2後	2								1
		歴史地理学	2前	2				1				
		自然地理学	2前	2			1					
		日本史史料学	2前	2								
		日本考古学Ⅰ	2前	2								1
		日本考古学Ⅱ	2後	2								1
		日本文化史Ⅰ	2前	2								1
		日本文化史Ⅱ	2後	2								1
		日本民俗学	2前	2								1
		ヨーロッパ文明史Ⅰ	2前	2								1
		ヨーロッパ文明史Ⅱ	2後	2								1
		芸術史	2後	2								1
	関 連 科 目	小計（16科目）	－									
		博物館概論	2前	2								2
		教育方法論	2前	2								1
		社会科・地歴科教育法	2前	2								1
		社会科・公民科教育法	2前	2								1
		社会科教育法	2前	2								1
	他 学 科 科 目	小計（5科目）	－									
		G I S概論	1前	2								2
		まちづくりとデータ分析	2前	2								1
		地域資源論	3前	2								1
		英米の地域と文化	2前	2								1
		多文化共生論	3前	2								1
	教 職 課 程 科 目	小計（5科目）	－									
		日本史	1前		2							1
		外国史	1前		2							1
		地理学通論	1前		1		1					
		地誌学	1前		1		1					
		政治学概論	1前		2							1
	小計（6科目）	－										1
		法学概論	1前		2							1
合計（239科目）			－									
卒業要件及び履修方法												
(1) 共通教育科目 44単位以上 a 外国語分野 第1外国語8単位、第2外国語6単位の計14単位必修 b 数理・情報分野2単位、自然分野4単位、社会分野4単位、人文分野4単位の計14単位必修 c 上記（1）bの各分野及び総合全体の中から計14単位必修 d 体育分野 2単位必修 (2) 専門教育科目 62単位以上 a 日本史学専攻 イ 学部共通科目 14単位必修（文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義2単位以上、入門演習2単位以上） ロ 演習科目 12単位必修 ハ 基幹科目 14単位必修 ニ 展開科目 8単位必修 ホ 関連科目 ヘ 上記（2）aイ、ハ、ニ、ホ及び他学科科目の中から 14単位必修 b 世界史学専攻 イ 学部共通科目 14単位必修（文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義2単位以上、入門演習2単位以上） ロ 演習科目 12単位必修 ハ 基幹科目 16単位必修 ニ 展開科目 8単位必修 ホ 関連科目 ヘ 上記（2）bイ、ハ、ニ、ホ及び他学科科目の中から 12単位必修 c 地理学専攻 イ 学部共通科目 14単位必修（文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義2単位以上、入門演習2単位以上） ロ 演習科目 12単位必修 ハ 基幹科目 16単位必修 ニ 展開科目 8単位必修 ホ 関連科目 ヘ 上記（2）cイ、ハ、ニ、ホ及び他学科科目の中から 12単位必修 (3) 上記（1）共通教育科目、（2）専門教育科目（教職課程科目を除く）の中から 18単位以上 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	展 開 科 目	歴史学総論	1後	2		3	1					
		地理学総論	1後	2		1						
		歴史学史	2前	2								1
		外国考古学Ⅰ	2前	2								1
		外国考古学Ⅱ	2後	2								1
		歴史地理学	2前	2				1				
		自然地理学	2前	2			1					
		日本史史料学	2前	2								
		日本考古学Ⅰ	2前	2								1
		日本考古学Ⅱ	2後	2								1
		日本文化史Ⅰ	2前	2								1
		日本文化史Ⅱ	2後	2								1
		日本民俗学	2前	2								1
		ヨーロッパ文明史Ⅰ	2前	2								1
		ヨーロッパ文明史Ⅱ	2後	2								1
		芸術史	2後	2								1
		小計（16科目）	－									
		関 連 科 目	博物館概論	2前	2							
	教育方法論		2前	2								1
	社会科・地歴科教育法		2前	2								1
	社会科・公民科教育法		2前	2								1
	社会科教育法		2前	2								1
	小計（5科目）	－										
	他 学 科 科 目	G I S概論	1前	2								1
		まちづくりとデータ分析	2前	2								1
		地域資源論	3前	2								1
		英米の地域と文化	2前	2								1
		多文化共生論	3前	2								1
	小計（5科目）	－										
	教 職 課 程 科 目	日本史	1前		2							1
		外国史	1前		2							1
		地理学通論	1前		1		1					
		地誌学	1前		1		1					
		政治学概論	1前		2							1
		法学概論	1前		2							1
	小計（6科目）	－										
合計（239科目）			－									
卒業要件及び履修方法												
(1) 共通教育科目 44単位以上 a 外国語分野 第1外国語8単位、第2外国語6単位の計14単位必修 b 数理・情報分野2単位、自然分野4単位、社会分野4単位、人文分野4単位の計14単位必修 c 上記（1）bの各分野及び総合全体の中から計14単位必修 d 体育分野 2単位必修 (2) 専門教育科目 62単位以上 a 日本史学専攻 イ 学部共通科目 14単位必修（文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義2単位以上、入門演習2単位以上） ロ 演習科目 12単位必修 ハ 基幹科目 14単位必修 ニ 展開科目 8単位必修 ホ 関連科目 ヘ 上記（2）aイ、ハ、ニ、ホ及び他学科科目の中から 14単位必修 b 世界史学専攻 イ 学部共通科目 14単位必修（文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義2単位以上、入門演習2単位以上） ロ 演習科目 12単位必修 ハ 基幹科目 16単位必修 ニ 展開科目 8単位必修 ホ 関連科目 ヘ 上記（2）bイ、ハ、ニ、ホ及び他学科科目の中から 12単位必修 c 地理学専攻 イ 学部共通科目 14単位必修（文学部総合研究2単位、卒業論文8単位、入門講義2単位以上、入門演習2単位以上） ロ 演習科目 12単位必修 ハ 基幹科目 16単位必修 ニ 展開科目 8単位必修 ホ 関連科目 ヘ 上記（2）cイ、ハ、ニ、ホ及び他学科科目の中から 12単位必修 (3) 上記（1）共通教育科目、（2）専門教育科目（教職課程科目を除く）の中から 18単位以上 （履修科目の登録の上限：44単位（年間））												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために**未開講**となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。（2つの表が1ページに表示されるようにしてください。）
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「Communicative English I」の兼任・兼任を「4」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「Communicative English II」の兼任・兼任を「4」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「Reading I」の兼任・兼任を「5」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「TOEIC」の兼任・兼任を「5」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「入門中国語 I」の兼任・兼任を「5」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「入門中国語 II」の兼任・兼任を「5」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「基礎中国語 I」の兼任・兼任を「5」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「基礎中国語 II」の兼任・兼任を「5」から「6」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「基礎フランス語 I」の兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「基礎フランス語 II」の兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「入門ドイツ語 I」の兼任・兼任を「1」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「入門ドイツ語 II」の兼任・兼任を「1」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス減）により、「情報総合演習」の兼任・兼任を「5」から「4」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「宇宙の科学」の兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「歴史学」の専任教員等の配置を「教授なし」から「教授1」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「考古学」の兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「哲学」の兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「文学」の兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス増）により、「日本語学」の兼任・兼任を「1」から「2」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス減）により、「古典の世界」の兼任・兼任を「4」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「スポーツ・健康演習」の兼任・兼任を「11」から「10」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「文学部総合研究」の兼任・兼任を「12」から「11」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「入門講義（歴史・地理学）」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「入門講義（日本語日本文学）」の兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「入門講義（欧米言語文化）」の兼任・兼任を「4」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「入門演習（社会学）」の兼任・兼任を「4」から「3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「入門演習（日本史学）」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（担当者変更）により、「歴史学総論」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・ 令和3年度授業計画策定（クラス減）により、「GIS概論」の兼任・兼任を「2」から「1」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
28 科目	205 科目	6 科目	239 科目	28 科目 [0]	205 科 [0]	6 科目 [0]	239 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	中国語会話（初級）Ⅰ	1	1前	一般	選択	過去の他学科の履修者実績に伴い、休講としたため。
2	中国語会話（初級）Ⅱ	1	1後	一般	選択	同上
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「中国語会話（初級）Ⅰ」「中国語会話（初級）Ⅱ」は、過去の他学科の履修者数動向から休講となることが多く、休講とする旨授業計画を設定した。上記科目は、2021年度不開講であっても学生の履修計画等に大きな影響はない。これらの情報については、学内で利用しているシステム「ライブ・キャンパス」、学内の掲示板、履修ガイダンス用資料等で情報発信し、履修登録・履修計画に支障が出ないように学生に事前周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{239} = \boxed{0.83\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知大学短期大学部 (必要面積2,000㎡) と共用			
	校 舎 敷 地	21,698 ㎡	96,750 ㎡	0 ㎡	118,448 ㎡				
	運動場用地	27,199 ㎡	72,846 ㎡	0 ㎡	100,045 ㎡				
	小 計	48,897 ㎡	169,596 ㎡	0 ㎡	218,493 ㎡				
	そ の 他	2,128 ㎡	8,787 ㎡	0 ㎡	10,915 ㎡				
	合 計	51,025 ㎡	178,383 ㎡	0 ㎡	229,408 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	愛知大学短期大学部 (必要面積2,350㎡) と共用			
		99,160 ㎡ (99,160 ㎡)	29,599 ㎡ (29,599 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	128,759 ㎡ (128,759 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	補助職員は、退職・採用 に伴う人数の増減(3)		
		122室	85室	23室	19室 (補助職員12人) -(補助職員15人)-	7室 (補助職員5人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		文学部 歴史地理学科			7 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	機械・器具、標本につ いては、大学全体での 共用 図書、視聴覚資料、機 械・器具を新規購入及 び除籍したため(3)	
	文学部 歴史地理学科	43,001 [9,587] (42,199 [9,586]) (43,001 [9,587])	192 [38] (192 [38])	5 [5] (5 [5])	256 (256)	23,371 23,281 (23,371) -(23,281)-	16 (16)		
	計	43,001 [9,587] (42,199 [9,586]) (43,001 [9,587])	192 [38] (192 [38])	5 [5] (5 [5])	256 (256)	23,371 23,281 (23,371) -(23,281)-	16 (16)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 図書館面積、閲覧座席 数及び収納可能冊数に ついて、大学全体の数 字を記載すべく見直し を行ったため(3)	
		13,851 12,783 ㎡		1,889 1745		1,266,400 1252335			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		7,175.63 ㎡		テニスコート7面、プール1面、ゴルフ練習場1面、弓道場等					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見 積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費について、 学部内の配分を変更し たため(3) 共同研究費の記載につ いて、大学全体の金額 から文学部全体の金額 に改めたため(3)
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	1,986千円	2,631千円 2,185千円	2,185千円	
		共同研究費等	1,725千円 11,330千円	1,725千円 11,330千円	設備購入費	5,453千円	6,133千円	6,133千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,140千円	960千円	960千円	970千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA-C対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	愛 知 大 学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
文学部	年	人	年次 人	人	学士 (文学)	倍	倍	年度	年度	年度	
人文社会学科	4	172	—	688	学士 (社会学)	1.26	1.36	平成30 令和3	平成17	愛知県豊橋市 町畑町字町畑1 番地の1	定員変更(△55) 定員変更(△118)
心理学科	4	55	—	220	学士 (心理学)	0.69	0.87		平成30	同上	
歴史地理学科	4	70	—	280	学士 (文学)	0.98	0.98		令和3	同上	令和3年4月 届出設置
日本語日本文学科	4	48	—	220	学士 (文学)	0.77	0.77		令和3	同上	令和3年4月 届出設置
経済学部											
経済学科	4	330	—	1,320	学士 (経済学)	1.17	1.22		平成元	愛知県名古屋市中 村区平池町4丁 目60番6	
国際コミュニケーション学部											
英語学科	4	115	—	460	学士 (外国語)	1.15	1.15		平成10	同上	
国際教養学科	4	115	—	460	学士 (国際教養 学)	1.13	1.12		平成10	同上	平成30年4月 名称変更
法学部											
法学科	4	315	—	1,260	学士 (法学)	1.15	1.17		平成元	同上	
経営学部											
経営学科	4	250	—	1,000	学士 (経営学)	1.13	1.17		平成元	同上	
会計ファイナンス学科	4	125	—	500	学士 (経営学)	1.20	1.20		平成17	同上	
現代中国学部											
現代中国学科	4	180	—	720	学士 (現代中国 学)	1.15	1.18		平成9	同上	
地域政策学部											
地域政策学科	4	220	—	880	学士 (地域政策 学)	1.14	1.03		平成23	愛知県豊橋市 町畑町字町畑1 番地の1	
大学全体	4	1,995	—	7,980	—	—	—	—	—	—	
大 学 の 名 称	愛 知 大 学 短 期 大 学 部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定 員	収容 定員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	令和3年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所 在 地	
ライフデザイン総合学科	2	100	—	200	短期大学士 (ライフデ ザイン総 合)	1.02	0.86	—	平成17	愛知県豊橋市 町畑町字町畑1 番地の1	
大学全体	2	100	—	200	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(1)－① 担当教員表

(1)－② 担当教員表に関する変更内容

※個人情報を含む内容であることから掲載いたしておりません。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
6	3
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
5	2	0	0	7	0	5	2	0	0	7	0
(5)	(2)	(0)	(0)	(7)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
5	2	0	0	7	0	5	2	0	0	7	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
- ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
- ・ **「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を要済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入する」とともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）**
- ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
70	0	0
歳	名	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
- ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）				①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	〇〇 科目
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	〇〇 科目
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	〇〇 科目
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	
		選択	#VALUE!	科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	
		自由	#VALUE!	科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	
		計	0	科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）＋（F）					後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0	人	必修	#VALUE!	科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目	必修	##### 科目		
		選択	#VALUE!	科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目	選択	##### 科目		
		自由	#VALUE!	科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目	自由	##### 科目		
		計	#VALUE!	科目	計	##### 科目	計	##### 科目	計	##### 科目		

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{7} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況【該当なし】

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合 計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	#VALUE! 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目	必修	〇〇 科目
		選択	#VALUE! 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目	選択	〇〇 科目
		自由	#VALUE! 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目	自由	〇〇 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」【該当なし】

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等【該当なし】

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (令和3年)			

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学部 歴史地理学科>

(1) 設置計画変更事項等【該当なし】

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 学習・教育支援センターを置き、センターの一事業としてFDの取組みを行っている。
別紙「学習・教育支援センター規程」参照。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 令和2年度は、豊橋センター委員会と豊橋・名古屋の合同センター委員会とを以下のとおり実施した。
新型コロナウイルス感染防止の観点から、メール会議とした場合もあった。
第1回豊橋センター委員会： 4/23 出席委員 5名（欠席0名）
第2回豊橋センター委員会： 8/3 出席委員 5名（欠席0名） ※メール会議
第3回豊橋センター委員会： 12/3 出席委員 5名（欠席0名） ※メール会議
第4回豊橋センター委員会： 2/5 出席委員 6名（欠席0名） ※メール会議

第1回合同センター委員会： 4/23 出席委員12名（欠席0名） ※メール会議
第2回合同センター委員会： 9/24 出席委員12名（欠席0名） ※メール会議
第3回合同センター委員会： 10/28 出席委員12名（欠席0名） ※メール会議
第4回合同センター委員会： 11/12 出席委員 8名（欠席4名）
第5回合同センター委員会： 11/26 出席委員10名（欠席2名）
第6回合同センター委員会： 2/10 出席委員11名（欠席1名）

c 委員会の審議事項等

- ・ 学習・教育支援センター規程第11条において、委員会の審議事項は次のとおり規定されている。
（センター委員会の審議事項）
第11条 センター委員会は、次の各号に掲げる事項を審議する。
(1) センターの事業に関する事項
(2) センターの予算・決算に関する事項
(3) その他、センターの目的を達成するために必要な事項

② 実施状況

a 実施内容

【FD】

- ・ 2020年度春学期におけるオンライン授業実施に関するアンケート
- ・ 2020年度秋学期における授業実施に関するアンケート
- ・ FDフォーラム
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成

【SD】

- ・ SD研修会の開催

b 実施方法

【FD】

- ・ 2020年度春学期におけるオンライン授業実施に関するアンケート：
遠隔（オンライン）授業について、春学期における取組状況や課題を把握し、
秋学期以降の授業運営に活かすことを目的として実施した。
- ・ 2020年度秋学期における授業実施に関するアンケート：
対面授業と遠隔（オンライン）授業が混在する中で、秋学期における取組状況や課題を把握し、
次年度以降の授業運営に活かすことを目的として実施した。
- ・ FDフォーラムの開催：
全学部教員を対象に、毎年テーマを変えて、学内外の講師による講演会を開催している。
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成：
学習・教育支援センター委員会から、学外のFD研修情報を教授会を通じてアナウンスし、
希望者に対する旅費等の助成を行う。
参加した教職員には報告書を作成してもらい、研修で得た各種情報等を学内教職員が
共有できるよう、ホームページ上で報告書を掲載する。

【SD】

- ・ SD研修会の開催：ハラスメント撲滅に向けて、個人、組織がどのように取り組んでいくべきか、
学ぶ場を設けた。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【FD】

- ・ 2020年度春学期におけるオンライン授業実施に関するアンケート：
回答率について、学生については28%、教員については45%であった。
- ・ 2020年度秋学期における授業実施に関するアンケート：
授業運営に役立てるべく、今後、アンケート集計作業を行う予定である。
- ・ FDフォーラムの開催：
2020年度は、第1部として「オンライン授業の設計を考える」、第2部として「効果的な遠隔授業
を行うために～様々な教育理論から得られるヒント～」をテーマとし、9/9に実施した。
43名の参加者があった。
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成：令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、利用者なし。

【SD】

- ・ 職員SD研修会の開催：
「ハラスメント防止研修～ハラスメントのない環境を創り上げるには～」をテーマとして、
2/26にオンラインにて開催した。教職員全体で182名の参加者があった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

【FD】

- ・ 2020年度春学期におけるオンライン授業実施に関するアンケート：
遠隔（オンライン）授業について、春学期における取組状況や課題を把握し、
秋学期以降の授業運営に活かすこととした。
- ・ 2020年度秋学期における授業実施に関するアンケート：
対面授業と遠隔（オンライン）授業が混在する中で、秋学期における取組状況や課題を把握し、
今後の授業運営に活かすこととした。
- ・ FDフォーラム：
大学教育及び授業改善に関する実践例や研究報告の講演等を通じてFD活動の推進を図っている。
- ・ 学外研修会開催情報の提供と研修参加助成：
よりよい授業のあり方を考察し、授業内容・教授法等の工夫・改善のための契機とする。
参加した教職員には報告書を作成してもらい、研修で得た各種情報等を学内教職員が
共有し授業改善の参考とできるよう、ホームページ上に報告書を掲載している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 毎年学期毎に実施しているが、2020年度においては、オンライン授業の実施に伴い、授業ごとの
アンケートではなく、以下のとおり履修した全ての授業に対するアンケートという形式で実施した。
 - ・ 2020年度春学期におけるオンライン授業実施に関するアンケート
 - ・ 2020年度秋学期における授業実施に関するアンケート

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ アンケート結果について、春学期は「LiveCampus」で学生と教員に対して公表した。
秋学期は、公表に向けて準備を進めている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項【該当なし】

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

記入例)

- ・ 地域との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容
- ・ 産業界との連携に関する〇〇の観点から教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

歴史地理学科は、過去の長い歴史的時間の中における人間や社会のありようやその変遷、人々が生活する地理的空間の存在形態や特質について深く学び、これを基点として、自身でテーマを決め、テキストの読解や現地調査を行って卒業論文を作成し、ものごとを自ら考えて新たなものを創造し表現する力を培うこととし、これらを通して、客観的な視点から人間や社会、風土や環境を眺め、深く理解して、その成果を自らの日常生活や社会生活において応用できる人材を養成するという趣旨により設置された。この趣旨の通りに、令和3年4月から歴史地理学科を設置し、滞りなく教育を実施している。入学者選抜について、文学部では、学科・コース別入試及び学科・コースを限定しない全体入試を含む選抜試験を計画通りに実施し、令和3年入試では、歴史地理学科の入学定員70名に対して、69名の入学者を得ている。なお、入学定員の不足数については、全体入試により入学した学生の中から補充する。今後も設置の趣旨に則り、教育活動を展開していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・年1回公表しているが、令和3年度は、大学基準協会による認証評価を受審するため、既に自己点検・評価報告書は完成しているものの、公表は受審結果を待って行う見込みである。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、大学ホームページ上で公開する。

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和3年度に大学基準協会の認証評価を受審する。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [☒ 有 ・ ☐ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [☒ 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ ☐ 公表後2～3ヶ月以内 ・ ☐ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [☒ ウェブサイトへの掲載 ・ ☐ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。